

学術講演会

日本薬学会九州支部 特別講演会

Mikiko Yamada, Pharm.D.

University of New Mexico • Clinical Assistant Professor

「アメリカの薬剤師教育と研究－知識と実践の架け橋に－」

要旨：

近年、日本における薬学教育をとりまく環境はめざましく変わってきている。2006年から日本の薬学教育の年数が6年制となり、臨床薬学を十分に学び、それを実践で活かせる薬剤師への期待は大きい。

アメリカでは、薬剤師の資格を取るために、Pharm D という博士の学位の取得が必須となってから20年以上が経過した。薬剤師としてより高度な医療に従事するために、また、他の医療従事者とチーム医療の一員として貢献するためには、臨床の知識のみならず、データ解析・解釈の手法、適切な医薬品情報を吟味するための力も必要とされる。これらの知識は、従来の学士レベルの教育では十分に補えないものであった。

University of New Mexico College of Pharmacy では、これまでの PharmD プログラムにおける教育に加え、知識を実践で活かせるためのさらなる教育プログラムを提供している。この実践演習は Pharmaceutical Care Laboratory (PCL) で行われており、1年生から3年生までの学生の必須科目となっている。

今回の講演では、演者が従事している治療学での講義内容と、PCLでの講義・演習内容を紹介する。また、薬剤師の卒後教育についても、紹介する。これらの情報が、日本における薬学教育や臨床研究のさらなる飛躍への一歩となれば幸いである。

日時：平成25年9月9日（月） 17:00～18:00

場所：長崎大学薬学部 多目的ホール

山田三樹子先生には、最新のアメリカの薬剤師教育と研究事情に関して詳しくお話しして頂きます。山田先生は、長崎大学大学院薬学研究科博士前期課程（治療薬剤学研究室）のご出身でもあります。是非、ご参加ください。

連絡先：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

川上 茂 (skawakam@nagasaki-u.ac.jp)